

# 第1回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：令和1年8月1日（木）午後13時30分～

場所：稲敷市役所本庁舎 3階 会議室

発言者	発言内容
-----	------

## 1. 開会

事務局	<p>政策企画課長の糸賀と申します。本日は大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今より、令和元年度稲敷市事務事業評価第1回外部評価委員会を開会します。</p> <p>会議次第に沿って進めさせていただきます。お手元の資料につきましては、次第に配布資料ということで記載しておりますので、ご確認をお願いします。それでは「次第2. 委員長あいさつ」、横須賀委員長からご挨拶いただきたいと思ひます。</p>
-----	--

## 2. 委員長あいさつ

横須賀委員長	<p>どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。3回目ということで大分慣れたのではないのでしょうか。今月中に任期が切れると伺っていますが、その対処については事務局からご説明いただく予定です。今期の外部評価については、最後まで努めたいと考えております。よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>議事に入る前に、議事録について確認させていただきます。</p> <p>会議録の調整方法ですが、昨年同様にボイスレコーダーによる記録とさせていただきます。発言者の記載方法は、昨年同様、委員長、委員、事務局等を記載して会議後確認をいただいた後、報告書の公表と同時に、市ホームページで公表する予定となっております。</p>

## 3. 議事

事務局	<p>それでは只今から議事に入らせていただきます。ここからの進行は、稲敷市外部評価委員会設置要綱第6条に「委員長は会議の議長となる」とありますので、横須賀委員長にお願ひしたいと思ひます。</p>
-----	---

## (1) 外部評価について

横須賀委員長	まず、「1. 外部評価について」事務局から説明をお願いします。
事務局	説明の前に、委員の任期は今年の8月で終了となっており、今期の外部評価の途中で任期が切れることとなります。こちらについては起案となりますが、できれば、今年度末まで任期を延長させていただきたいと考えています。それに合わせて要綱の改正が必要になるかと思いますが、ご承認をお願いいたします。
委員全員	(了承)
事務局	《資料説明》
横須賀委員長	ご説明いただいたわけですが、「帳票が外部評価向きではないのでは？」という面があります。というのも、計画の進行管理の意識・事業進捗状況の評価が中心になり、公平性・効率性よりも優先されがちになります。内部評価ならば場合によっては問題ないかもしれません。外部評価でも進捗についての話は聞きますが、せっかく専門家をお呼びしているわけですから、契約や、もっと全体のことや、行政が市民に向けた方向性に本当になっているのか、など。皆様にはそうした意見も挙げていただき、この会議に諮ることが、効率的であり有効である、と思われるよう、それぞれの経験値を含めた視点からのご意見をいただきたいと思います。行政で何十年もやっていると、頭の中がいっぱいになってしまう。外に出て話を聞いてみると、違うな、と感じることが出来ると思います。我々が気付いたことを言うことで、常識だと思っていることが違うことに気づくことになるかもしれない。施策評価や政策的な評価に踏み込んでいくこともありますが、それは受け取る側がどう受け取るかの問題なので、あまり気にせず話してください。ただ、行政側と我々の言っていることをつじつまが合わなくなってしまうような話にならなければよいと思います。気になることは全部話してください。外部評価と内部評価は全然違うものなので、システムでの評価は内部評価で可能ですが、外部評価はそうではないと思います。また、今年は3回目ですべて皆さん慣れてきているので、時間の配分を考えて進めていきたいと思っています。

## ■子育て・学び

事務局	《資料説明》
横須賀委員長	ご意見ございますか。継続して報告がほしい事業に関しては、次回でも構いません。
委員	担当課ではないと思いますが、トランポリンについての交渉の感触はどうですか。

事務局	お話伺った限り、何とも言えないようです。11月に世界大会が東京で開催される為、そちらでPRを重ねて何カ国かと交渉を進めていく予定だと聞いています。
横須賀委員長	No.09「平和推進事業」とNo.10「姉妹都市交流事業」については、公平な選抜がされているのか気になりました。行きたい子が行けているのかが気になります。
事務局	今年度も昨年度同様に選んでいただいていると聞いています。今後、実施後にアンケートを取る予定です。
横須賀委員長	一番簡単な方法だからといって、成績が優秀な子ばかりを選出、という考え方も変える必要があるように思います。

## ■福祉・健康

事務局	《資料説明》
横須賀委員長	全国的に敬老事業は廃止になっているところも多いです。高齢者の数に耐え切れない部分もあるかと思いますが、高齢者の意識も変わってきているという状況もあると思います。
委員	<p>昼食代をなくしたからといって、予算が削れるわけではないと思います。ウェイトを占めているのはバスの借上げなどだと思います。昼食は楽しみにしている人もいます。抜本的に改正する意思がない限りはいつになっても同じではないでしょうか。去年は体育館の改修時期で、1年間やらないということでしたが、平成31年度に向けて変えてはどうかという話をしたと思います。担当課長は、間髪入れずに来年は例年通り実施するとこの場で言っていました。</p> <p>どうせ開催するのであれば、お昼程度出してあげれば良いと思います。やることが中途半端な印象を受けてしまう。地域の区長と協力しながら、地域ごとにお祝いをする方向性も、それが正しい方法とは言い切れないが、視野に入れながらやって頂けたらと思います。</p>
委員	今後の敬老会を開催するか否かについて、アンケート調査か何かを行う予定はありますか。
事務局	今年開催後に参加者・高齢者の方にお伺いする予定です。
横須賀委員長	参加者は来たくて来ているので答えは決まっている。アンケート調査というなら、来てない人にも出さなくては。
事務局	対象の高齢者が6,000人を上回っている状況であり、全世帯向けにアンケートが出来るとは難しいところです。
横須賀委員長	全世帯向けアンケートの必要は必要ないが、来場者のみにアンケートを取って皆が希望しているという結果にすることは良くない。

委員	たとえば敬老会を辞める決断をする時に、どういう理由付けになるのでしょうか。時代に合わないだけでは納得がいかないと思います。
委員	体育館の収容人数が1,500人程度の中、高齢者が6,000人もいて、今後高齢化が進み、逆ピラミッド化は更に進むと言われているので対応が出来なくなっていく。そういうことも、一つの要因として理由付けはしてもらいたい。
委員	予算も対応できなくなっていくので、今のうちから準備した方がよいと思います。団塊の世代が高齢化する2040年が高齢者のピークと言われています。
横須賀委員長	やはり地区に予算を渡して、地区ごとに考えてもらうのが一番いいのではないのでしょうか。敬老はしない、という地区があれば、予算を渡さない、というのも一つのやり方だと思います。本当に高齢者に何かをしてあげてことを考えたときは、もっと小さい単位がいいと思います。その人達の存在を確認して何かあったときにどうするか、その人たちがどういう風に社会貢献できるか、を考えるのは、もっと小さい単位だと思います。人手が足りない以上、社会貢献してもらわなくてはならない。それを地域で良い方向に持って行ってもらいたい。少子化の話ばかりが社会的に問題に上げられるが、現実には高齢化がより深刻。高齢者が社会参加していくことで、変化が生まれると思います。
委員	5人に1人しか行けないなら、公平とは言えないと思います。
委員	歌謡ショーは楽しみにしている人も多いから、アンケートは来場者だけに伺わない方がいいと思います。
事務局	来場者対象のアンケートかはまだ未確定ですが、参加者や区長の意見も伺いたい、ということでした。
委員	区長に聞いても意味がない。出演者によって感想が変わる人もいます。
横須賀委員長	廃止せずに事業が続くならば、お越しいただくほうが大事でしょうね。
委員	1カ所集中型で公費をかけていく時代ではないのだろうと感じます。実際来たくても来られない人もいらっしゃるから、公平にはできないとしても、何かしら対策をするというのなら地区ごとに行くほうが良いのではないかと思います。

#### ■生活安全・環境保全

事務局	《資料説明》
横須賀委員長	防犯カメラというのはいくらかかるのですか。

事務局	一台で70～80万程度です。
横須賀委員長	<p>現在色々な防犯カメラがあって、データを読み込むソフトに顔認証システム入ってれば、特定の間人がその道を通ったどうか判断することも可能と聞きます。</p> <p>市で助成を考る際、例えば家宅・商店の外側の道路側も撮ることを前提に助成を行うなどどうでしょうか。店舗の前に駐車のある商店だと、つけておかななくてはならない場合もあると思います。</p> <p>電気屋が取り扱っている防犯カメラは、非常に価格が安いので、つけなくてはいけなくてはつるにしても、1ヶ所に何十万も出す必要があるのかな、という気がします。</p>
委員	リースはないのでしょうか。
委員	昨年は県警から半分補助がありました。しかし、話を聞くと交差点ばかりで防犯ではなくて交通事故対策になっているのではないかと意見を出した記憶があります。今年全額市の支出になるのかどうかわかりませんが。
委員	ドライブレコーダーもリースがあるので、防犯カメラもお手軽な金額の物がありそうですが。
委員	街中だったら、委員長が仰ったようにアーケードの一部商店に協力してもらって、道路側も撮影できるようなカメラに補助金を出すというのも1つの手法かもしれません。
横須賀委員長	流れとしては各地に設置する流れだが、効率的に台数を増やそうとしたらそういう手法もあるでしょう。
横須賀委員長	犬猫死骸処理については、通報した人がたらい回しになることはないようにしてもらいたい。地域に対する責任は市が背負ってるわけで、こちらが連絡を繋いで適切な処理をしてもらえばいいので、通報した人が手間をかけさせられる形になってはいけなくて。
委員	国道で亡くなった犬猫はどこが処理するのですか。
事務局	管理者が責任を持って、というのが本来の筋になります。
委員	県などに通報して、その間死骸はずっと放置されてしまうのですか。
事務局	厳密に言うとも国県道のを市が一切触れないわけではありなくて。
委員	龍ヶ崎市の場合は、県道でもなんでも市域の場合はすぐ市の環境課に連絡すると環境課が引き取っています。最終的に市で処分するかどうかは把握していませんが、ひとまず手っ取り早いのが市役所に通報することでし

	た。今のままだと清掃もどんどん遅くなってしまいますので、体制が必要だと感じます。
委員	それほど長く放置はしていませんよね。
委員	近所の人が道路の脇に寄せたりしているのかもしれませんが。

## ■都市基盤

事務局	《資料説明》
横須賀委員長	<p>デジタルの地図で、住所などと色々なものを重ね合わせることができません。新人研修で GIS についての研修を行ったのですが、表では分からないようなことが、地図ではドットで見ることができます。例えば 65 歳以上がどの地区に多く住んでいて、バス停から 300m の範囲に円を描くと、どのエリアが拾えていないかがはっきり地図上で見えます。若い職員が使いこなせれば。そういうものが進んでくると、行政そのものの考え方や、整理の仕方が変わってくるだろうと思います。</p> <p>他で使っている例としては、街路灯の維持管理などをやっているところもあります。色々ところで使い始めています。</p>
委員	サイクリング座談会、すごく興味があります。
事務局	サイクリング座談会については、県・市の担当、自転車愛好家の方に声掛けをして、つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用についてのご意見を伺っていくという意見交換会の形になると思われます。
委員	稲敷市としてはサイクリングロードがありますが、結局サポートステーションが 2、3カ所しかなくてもっと増やそうという話なのだと思いますが、委員長からお話があったような、市独自のステーションをどうするかという話はまでは、まだ発展していないのでしょうか。
事務局	サポートステーション自体は増えたようなのですが、県で予想以上の反響があったのかサイクルラックの提供を一時休止している状況です。
委員	去年の話では、体育館を利用して新しいステーションを作ってはどうかという話でした。車で来られる方に駐車場スペースもあるし、稲敷市の名所旧跡を回りながら、お店にも立ち寄り地場産業も盛り上げてもらえる、というような話でした。汗を流すためにシャワールームがあれば訪れた人がさっぱりして帰れるだろう、といった去年のお話であったと思いますが、そこまでは話は進んでいないのでしょうか。
事務局	市内のサイクリングというより、やはり霞ヶ浦沿いのサイクリングがメインになりますので。
横須賀委員長	お付き合いになっている。どうせやるなら、ここが中心で、他の市町村も使ってあげるような話でない。

事務局	<p>実際に体育館でそういったお話をしてきました。国体に向けてどうかと聞いたら、良い考えだから使っても構わないということでした。また、マップの間違があるということと、舗装してない場所の改善をしてほしいというお話もいただきました。</p> <p>座談会につきましては、今の県のやり方を皆に知っていただくということで市内のお店を運営している約60人に参加していただきました。また、どういう風にしたら商売の役に立つか意見をいただきました。それから、モデルのサイクリストに来ていただき、SNSに掲載させてもらったのですが、サイクリングをやる人は疲れるから甘いもの買いに来ますというお話もいただきました。なので、モデルコースを作るのも一つの手かなと考えています。</p>
委員	<p>去年も体育館の前にマップを掲示して、浮島ルートなど、複数ルートを示してはどうかという話もさせていただいたと思います。</p>
事務局	<p>できることはそこだと思われます。</p>
横須賀委員長	<p>サイクリングが趣味の知人に話を聞くと、各地のコースを走りに行くためにかなりの金額を使っていて、増々盛んになっているなど感じます。インバウンド以上に違う世界に入ってきたように思います。</p>
委員	<p>ゴールデンウィークに和田公園に野鳥を見に行った時ですが、サイクリングの方が何人もいらっしゃっていました。バーベキューをやる人もいました。駐車場もいっぱい、遠くから来ている車もありました。外から来た人が、稲敷のおまんじゅう屋さんを知っていて、おいしいお店の情報は広がっていくのだな、と思いました。</p>
横須賀委員長	<p>全国チェーン店が出ると他のローカル店は消えていくものだと思いますが、稲敷は生き残る力がある店が面白いほどありますね。ああいった店は、外向けに発信したら皆喜ぶのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>地元の人が知らないお店を逆に教えてもらうこともあります。</p>
横須賀委員長	<p>旧役所の方に入っていくと、寿司屋や蕎麦屋があって、こんなにお店があって成立するのか、と思いますが生き残っていますね。そういう意味では、資産がありますね。桜川では、50号沿いは全国チェーンなどのマーケットが出来てしまったから元々のお店がほとんどなくなってしまった。真壁はチェーン店が一件もないから、観光客に人気のニッチなお店がいっぱいあります。稲敷にもそういったお店がたくさんあります。</p> <p>土浦市のサイクリングロードでは、鉄道跡地のサイクリングロードがありますが、土浦市内に入る手前で、市内は走りにくいからと折り返してしまうと聞きます。そこをうまくつないであげれば、市内に誘導できた。そ</p>

	れと同じことが起きている。県のサイクリングロードに少し付き合うのではなく、稲敷に呼び込んでしまうようにすれば、市内のお店も賑わうかもしれない。
委員	オリジナルのコースを作成しても構わないのではないのでしょうか。
横須賀委員長	インバウンドよりサイクリングに力を入れたほうが、人が集まるかもしれませんね。これは力を入れた方がよいと思います。
委員	No.22「三世代同居リフォーム支援事業」ですが、同じ敷地内に戸建てを新たに建てるのは、リフォームではないので支援はされないのでしょうか。今、稲敷では若い人が結婚すると敷地が結構あるので別棟を建ててお風呂や食事も別で同じ敷地内に住んでいる人も多いのですけれども。
事務局	3世代で一緒に住んでいる場合、新築の補助金になると思われれます。三世代がずっと一緒に住むことを奨励して、補助金を支給しています。家を建てるということは、ずっとここに住むと考えられますので、補助を行っています。ただ、額がかなり大きいので、この先どうするかは、見直しの時期にきていると考えています。

#### ■産業観光・市民参画・行財政

事務局	《資料説明》
横須賀委員長	No.31「コールセンター事業」は、茨城計算センターがデータを扱っているからと言って、茨城計算センターを通さなくては契約できない、という考え方は違う。答えになっていない。
委員	No.30「公共施設再編事業」は、市民の意見を聴取するのに一番良い手法のようにしているが、実際にパブリックコメントは、周知し、広報して期間を決めても、私の経験上、コメントが来ることはほぼない。ご意見がないから、良しとするのかについて伺いたいと思ったのです。
横須賀委員長	パブリックコメントが市民に対する公表だという考え自体が違うように思います。
委員	良い文言ではあるが実状は問題が多い。「反映させました」という以上はご意見があったのだと思われれますが。
横須賀委員長	パブリックコメントも都市計画決定のように説明会があって意見を集めているならわかるが、ホームページにアップするのみでは。パブリックコメントをするなら、説明会をやった方がいいと思います。説明会を設けて、周知を行った上で、説明会に参加せず、パブリックコメントにも意見がないということなら、我々は公表をしたと言えますが、ホームページにアップしたというだけでは公表しているとは言えないと思います。

委員	実際に公共施設の再編が大変だということは、住民として分かってはいますが、どうだったのかなと思ったので。
委員	聞いていない、いつの間に決定したのという方はやはりいらっしゃると思います。
横須賀委員長	よろしいでしょうか。ということで、このうち来年も取組の状況を聞きたいと思う事業はもう一回考えておいてください。

#### ■平成 29 年度に外部評価を受けた事業について

事務局	《資料説明》
横須賀委員長	都市農村交流事業は、令和 3 年度までは続いてしまうのですね。
委員	沼里地区は、結構借りている人が多いようです。
委員	最近見ていると、借りている人が増えているように思います。
委員	遊ばせておいてはいけないと思うので、増えたのはよかったですね。
委員	新交通システムというのは、コミュニティバスを小型化して本数を増やしたり、デマンドにしたりするというようなことになるのでしょうか。市長が目玉にしているようで、選挙の公約で見直しをします、とおっしゃっているのを何回か聞いたことがあります。
事務局	かなり新しい形式なものになります。路線バスを維持しながら、それでは補完出来ない地域に曜日振り分けながら走らせることが可能なように協議をしている段階です。
委員	難しいですね。朝夕は子ども達、日中は高齢者のニーズがあると思います。公共交通補助事業やタクシー利用券補助事業と抱き合わせで実施していく必要があるかもしれません。
横須賀委員長	高齢者は、免許を返納すれば、車を維持していた分のお金を使えるはず。タクシー利用も、もう少しフリーに使えるようにして、利便性のある使い方が確立できれば、もう少し違うのではないのでしょうか。
委員	東京は公共交通が発達しているが、この辺りは車がないと無理だと思います。
委員	地域的に、車がないと病院、買い物など、日常生活さえ厳しいという状況だと思います。家族が心配していても、手放せない状況が多いと思います。
委員	人がいると止まってくれるようなブレーキシステムの車も出ていますから、そういうものを活用していったほうが良いと思います。

委員	移動手段に関しては、委員長がおっしゃったように、車で移動している人は自己負担で移動しているわけですから、すべてを税金で賄う必要はないと思います。
横須賀委員長	タクシーもバスも、乗車するときに支払うから、すごく出費しているように感じるかもしれませんが、車を維持するのに比べたら安いかもしれません。
委員	タクシー券は、今は700円までなどの限度があって、なかなか利用しづらいかもしれません。
横須賀委員長	日本中の自治体で問題になっていることだから、どこかにいい解決方法があるのではないかと思います。 よろしいでしょうか。では、これも含めて、次年度も対応について話を聞きたいものは、後ほど挙げてください。

#### ■対象事業の選定について

横須賀委員長	それでは、対象事業の選定について説明をお願いします。
事務局	《資料説明》
委員会一同	27事業選定
横須賀委員長	外部評価については、今日選定した事業でスタートし、追加で各委員が選定した事業については、後ほどの日程に追加していただく、というのではどうでしょうか。担当課が2回出てくることになってしまうかもしれませんが、仕方ないでしょう。次回から外部評価をスタートしましょう。それでよろしいでしょうか。
委員全員	(了承)

#### ■スケジュールについて

	スケジュールについては、以下のように決定しました。 第2回 8月9日(金)午前9時30分～ 第3回 8月19日(月)午後1時～ 第4回 8月21日(水)午前9時30分～午後 第5回 8月26日(月)午前9時30分～午後 第6回 8月28日(水)午後1時～ 第7回 8月29日(木)午前9時30分～
--	--

#### 4. 閉会

事務局	第1回稲敷市外部評価委員会を閉会とさせていただきます。本日はどうも協力ありがとうございました。
-----	---

以上